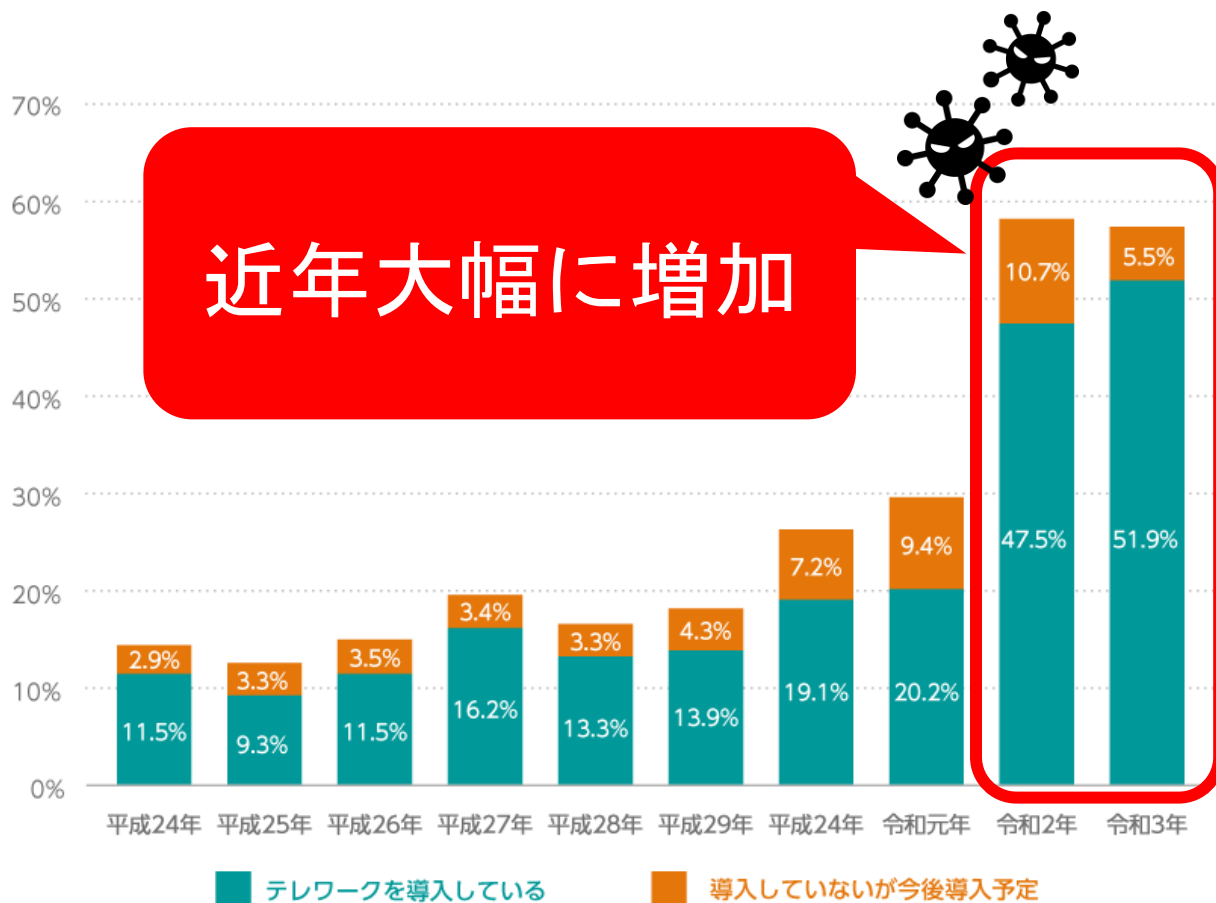


テレワーカーの 居住地域別幸福度と 関係要因分析

北海学園大学
工学部生命工学科
4719106 上坂健太

研究背景

企業におけるテレワーク導入状況の推移



働く場所の
多様化



場所にとらわれず
に働けるように

<引用>

総務省「通信利用動向調査」(平成25年～令和4年)

研究背景



都会？



地方？



東京圏から地方移住へ関心増加傾向！¹⁾

現状

都心一極集中状態

地方移住にはつながっていない



テレワーカーはどこに住むと幸せ？

<参考文献>

1)内閣府 第5回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査
2022, p17

既存研究

主観的幸福度

感情状態を含み、家族・仕事など特定の領域に対する満足や人生全般に対する満足を含む広い概念 (Diener, Suh, Lucas, & Smith, 1999)

既存研究

幸福度



【地域比較】¹、【移動】²、
【通勤時間】³ 【時間管理】⁴

本研究

幸福度



テレワーク



地域比較

1) 都市内自然環境が主観的幸福観に与える影響評価(臼木,2012)

2) 日常的な移動が主観的幸福感に及ぼす影響に関する研究(北川・鈴木・中井・藤井,土木学会論文集 D3,Vol.67,No5,2011)

3) Chatterjee et al. 2020 4) 大学生における時間管理が主観的幸福感に及ぼす影響(伊藤・原口・徳田)

研究の流れと目的

1

データの収集

居住地域別のテレワーカーを対象に自身の幸福度についての意識調査

2

データの分析

【相関分析・分散分析】

目的

3

分析結果の考察

居住地域別の幸福度を分析し
地方への移住者増加の方策を提案

アンケート概要 1

調査期間	2022/10/25～2022/10/28
配布・回収方法	ネットアンケート（楽天インサイト）
被験者	在宅勤務型 ¹⁾ かサテライトオフィス型 ²⁾ の テレワーカー
テレワークの頻度	3日/週以上を対象
回収数：600（各地域男女75人ずつ）	

首都圏

政令指定都市を含む
大都市

中核市

その他地域

※大都市：既成市街地等と定められた首都圏を除く近畿圏、中部圏

※中核市：人口20万人以上の都市

1) 自宅でテレワークを行うもの

2) 自社の多事務所、または複数の企業や個人で利用する共同利用型オフィスやコアワーキングスペース等でテレワークを行うもの

アンケート概要 2

調査項目	
業種	
自宅から勤務地（テレワークを行わない場合に出勤する勤務地）までの片道の移動時間	
テレワークを行っている居住地域の幸福度に関する設問40問	
Q1	人生のゆとり
Q2	居住地域の交通
Q3	居住地域の楽しさ
Q4	居住地域の自然環境
Q5	居住地域の行政サービス

分散分析(多重比較)

Q6.10総合的な幸福度

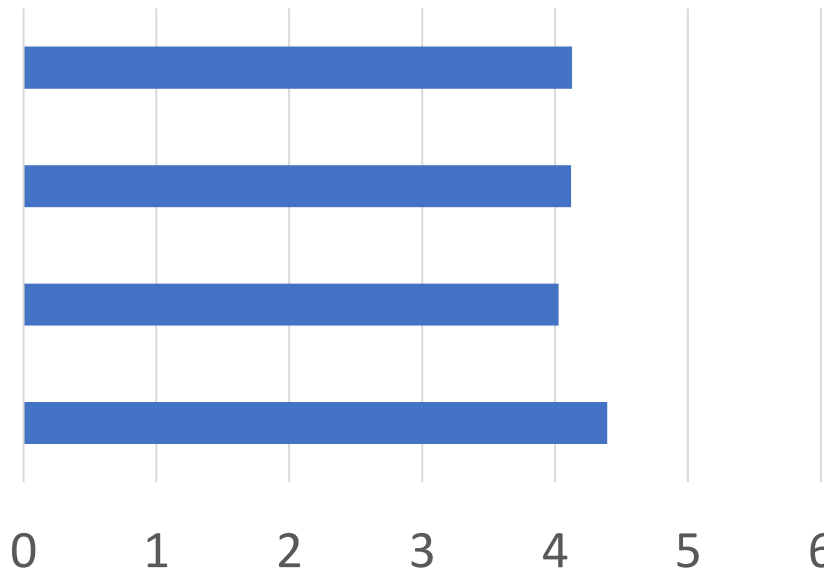
4地域比較

その他地域

中核市

政令指定都市を含む大都市

首都圏



各地域 $n = 150$

地域間の総合的な幸福度有意差なし！

規模の異なる地域でも総合的な幸福度は変わらない！

分散分析(多重比較)/相関分析

幸福度との相関係数上位10項目

影響度

	幸福度との相関係数	1.首-政	2.首-中	3.首-そ	4.政-中	5.政-そ	6.中-そ
一日の充実度	0.700						
精神的なゆとり	0.677						
休日の充実度	0.643						
プライベートの人間関係	0.606						
自身の心身の健康	0.601						
家族との関わり	0.548						
趣味・娯楽の時間	0.529						
時間的なゆとり	0.511						
困ったことがあった場合に相談できる環境・窓口などの充実度	0.499						
家の広さ・設備・快適性など	0.497						

5%有意

*

幸福度に強く影響する項目ではほとんど**居住地域間**に差がない

分散分析(多重比較) / 相関分析

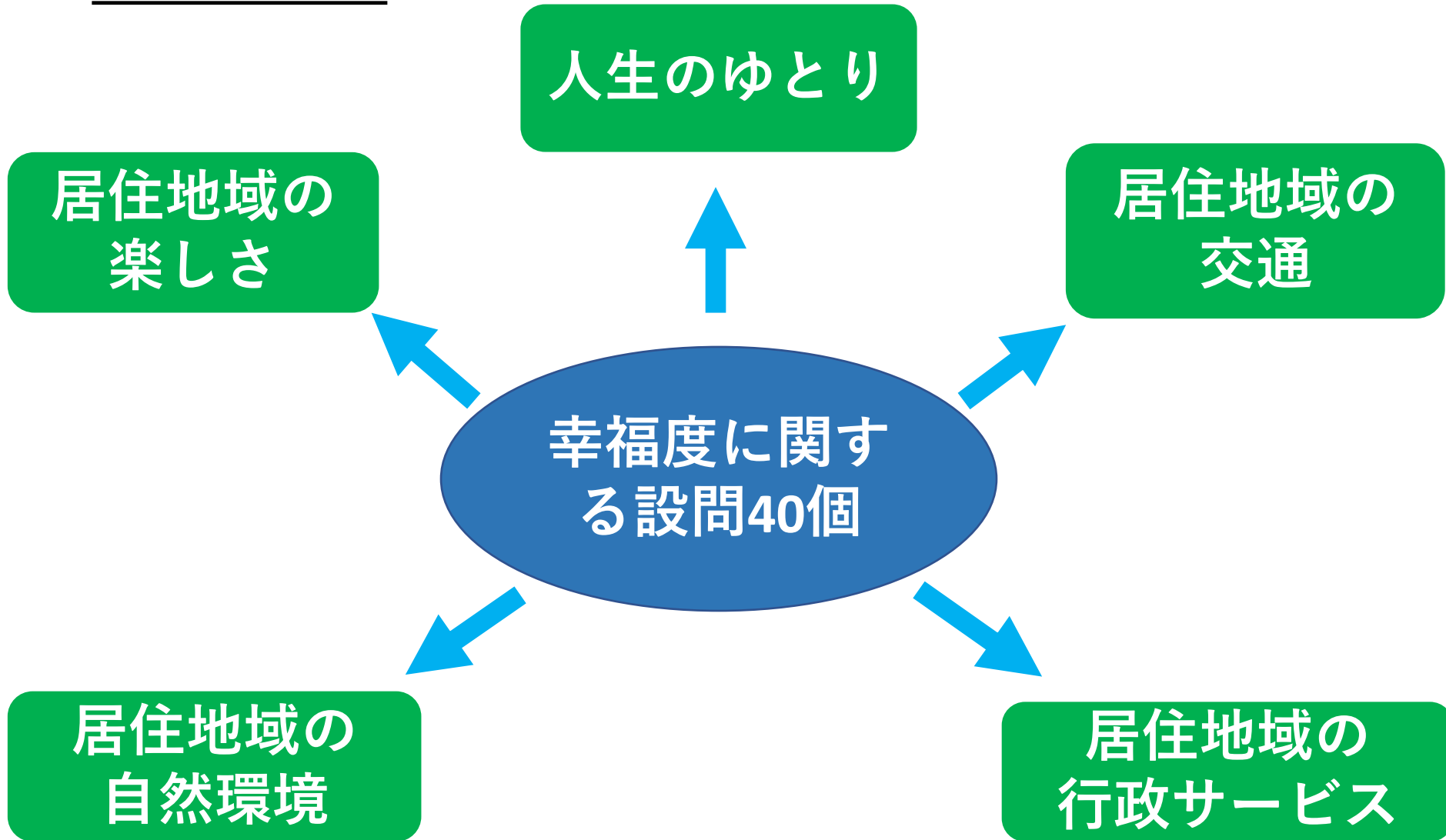
幸福度との相関係数下位10項目

	幸福度との相関係数	1.首-政	2.首-中	3.首-そ	4.政-中	5.政-そ	6.中-そ
地域コミュニティとの関わり	0.395						
居住地域の気・音・匂い	0.380		**				
居住地域の医療・居住地域の治安	0.377						*
居住地域の自然環境	0.371		*	*			
居住地域の文化・芸術・スポーツ・イベントなど	0.370						
居住地域の小学・中学における教育環境	0.366						*
居住地域の飲食店の充実度	0.331			**		**	
居住地域の公共交通機関の利便性	0.313		**	**	**	**	
レジャー施設や映画館などの娯楽施設	0.312			*		*	*
居住地域から他の地域への交通環境	0.302		**	**	*	**	

* 5%有意
** 1%有意

幸福度にあまり影響しない部分では**居住地域間**に差がある

項目分類



5分野ごとに比較

分野比較

人生のゆとり分野有意差なし！

		1.首-政	2.首-中	3.首-そ	4.政-中	5.政-そ	6.中-そ
自然環境分野	居住地域の 大気・音・匂い		**				
	居住地域の治安						*
	居住地域の 自然環境		*	*			
行政サービス分野	居住地域の小学・中学における教育環境						*
	居住地域の医療・福祉などに関する支援制度			*			*
	困ったことがあった場合に相談できる環境・窓口などの充実度			*			
居住地域の交通分野	居住地域の公共交通機関の利便性		**	**	**	**	
	居住地域から他の地域への交通環境		**	**	*	**	
	居住地域の買い物環境			*		*	
楽しさ分野	居住地域の飲食店の充実度			**		**	

地方の強み！

■ 小規模な都市の方が高い評価

■ 大規模な都市の方が高い評価

まとめ1

規模の異なる地域でも総合的な幸福度は変わらない！

→どこに住んでも同じくらいの幸福度を得られる



→地方はPRに力を入れればテレワーカーを
呼び込める可能性 **高**



まとめ2

地方では自然環境の良さをSNSなどを通して発信

→特に大気・音・匂い等の自然環境をアピール！

需要



供給

地方移住への関心理由第1位（東京圏在住で地方移住に関心がある人）¹⁾

→【自然豊かな環境に魅力を感じる】



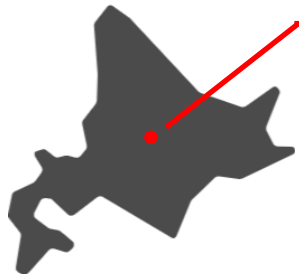
1)内閣府 第5回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査2022, p18



具体例



東川町



令和3年人口増加数 **全道1位**

- ・ 子育て支援
- ・ 写真の町
- ・ 移住支援
- ・ 留学生支援

『おいしい水、うまい空気、豊かな大地』の3本柱でPR！

移住体験もできる！



東川町のまち並み



※総務省, 令和3年住民基本台帳人口動態 (令和3年1月1日から令和3年12月31日まで)